

浸水被害を軽減するため、排水ポンプ車を配備します

近年の激甚化、頻発化している豪雨災害に対応するため、排水ポンプ車1台を6月上旬頃、配備する予定です。

排水ポンプ車は、豪雨等により浸水した場合や道路が冠水した場合に、現場に速やかに駆けつけ、排水作業を行なう車両で、今回導入する車両は、小中学校のプールであれば約10分で空にできる排水能力（30m<sup>3</sup>/min級：1台）を有しています。



排水ポンプ車イメージ



《排水ポンプ車諸元》

車体寸法	全長7.69m×全幅2.28m×全高2.72m
排水量	30m <sup>3</sup> /min（5m <sup>3</sup> /min×6台）
総重量	8t未満
揚程	10m
排水運転時間	連続48時間以上（搭載タンクでは13時間）
発動発電機	125 KVA
照明装置	LED照明 2灯

排水ポンプ車は、福岡県、国土交通省九州地方整備局にも配備されていますが、市において排水ポンプ車を配備することによって、市内での浸水被害発生時に速やかに出動できる体制を構築します。

○その他

・運用方法

「災害時における応急対策業務等に関する協定」を締結している市内業者のうち6社と運用に関する覚書を締結し、連携しながら現場排水作業を行います。

・披露式（予定）

日時：6月7日（火）10時～11時

場所：一部橋公園（大牟田市沖田町481-1地先）